

◆ 研究分野	・応用獣医学
◆ キーワード	・CpG, DNAワクチン ・アレルギー ・花粉症 ・ワクチン ・動物モデル
◆ 産業界での応用の可能性等	・人、獣医学領域に応用可能
◆ 共同研究・受託研究可能なテーマ	・各種アレルギー解析・測定 ・アレルギーを使った抗原特異的免疫療法 ・スギ花粉症自然発症ニホンザル及び犬
◆ 利用可能な設備・機器等(共用機器も可)	・麻布大学内の設備
◆ 関連の知的財産等	・特願 2007-98969
◆ 所属学会	・アレルギー学会 ・獣医学会

## 研究紹介（概要）

### 各種アレルギー解析およびアレルギーを使った抗原特異的免疫療法

アレルギー疾患の唯一の根治的治療法として減感作療法がある。しかし、この治療法は、アナフィラキシー等の副反応が起こることなどの短所があり、あまり普及していない。本研究においては、この減感作療法に代わる効果的で安全な抗原特異的治療法の開発を行い、アレルギー疾患に対する根治的治療法を開発することが目的である。この治療法の開発にはは主要なアレルギーの同定・解析が必要であるため、その研究も行っている。

さらにその効果や安全性を調べるために、スギ花粉症自然発症ニホンザルや犬を用いた臨床・基礎研究も行っている。スギ花粉症ニホンザルは人以外の霊長類でアレルギーを発症した初めての例で人と同じ症状を示す。犬は人やサルと異なり、アトピー性皮膚炎が主な症状を示すが、少数例であるがくしゃみなどの、呼吸器症状も示すことも分かっている。スギ花粉症治療法の評価にこれらのモデル動物を使用することが可能である。



スギ花粉症のニホンザル

スギ花粉症の犬

#### 社会、産業界へのPR

- ・ 各種アレルギー解析・測定に関するノウハウがあるので、必要なアレルギーを精製・解析に関する共同研究を希望している。
- ・ アレルギーを使った抗原特異的免疫療法によるアレルギー治療法の開発の共同研究を希望している。
- ・ スギ花粉症の治療薬の評価においてスギ花粉症自然発症ニホンザル及び犬が使用可能で、共同研究を希望している。

職名	教授		
氏名	阪口 雅弘		
ローマ字	Masahiro Sakaguchi	学位	農学博士
所属学部等	獣医学部	所属学科等	獣医学科
所属研究室等	微生物第一研究室	URL	http://www.azabu-u.ac.jp/~labvv/sakaguchi/index.html